

神戸大学氷ノ山体育所(千本杉ヒュッテ)ご利用の手引き

神戸大学山岳会・山岳部

ヒュッテの紹介

神戸大学氷ノ山体育所、通称千本杉ヒュッテは、1961年神戸大学山岳部とそのOB会である神戸大学山岳会が中心となって県下最高峰の氷ノ山に建設しました。現地の千本杉(現在では天然記念物に指定)を建築材として利用し建てられたヒュッテは、冬には積雪8mにもなる豪雪地で50年以上の風雪に耐えてきました。神戸大学山岳部山岳会はこのヒュッテをベースに、昼は氷ノ山の自然に親しみ、夜はヒマラヤ登山の夢を語りあうなど、私たちにとって思い出深く、かけがえのないヒュッテです。この居心地の良いヒュッテに皆様も泊りにきませんか。



ヒュッテ付近の四季

ヒュッテは氷ノ山東尾根の標高1350mの地点に立ち、氷ノ山頂上まで約30分の位置にあります。登山、山スキー、自然観察、山菜取り、避暑など四季折々に自然に親しめる絶好のロケーションとなっています。



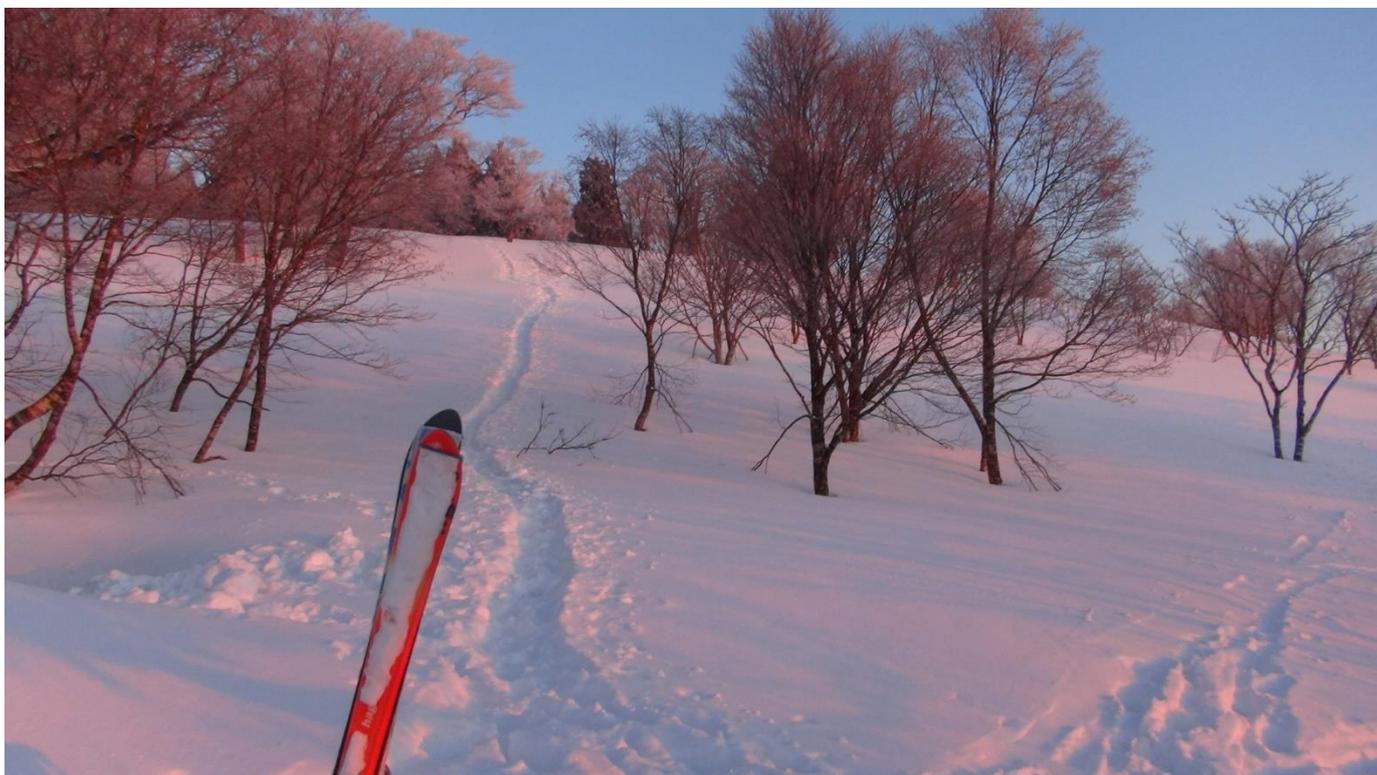
東尾根の秋(ブナ黄葉)



冬の千本杉(ヒュッテと頂上の間)



新緑の頃のヒュッテ前広場



ヒュッテから千本杉へと続く斜面は絶好のスキーツアーコース (3月初旬の夜明け)

ヒュッテの施設

木造2階建て、収容人数50名程度、水道(沢水)、台所、トイレあり

薪ストーブ、カセットコンロ、鍋類、食器類、寝具(銀マット・寝袋・毛布)、LEDランプなどは備え付けあり



1階 ストーブを囲んで板間



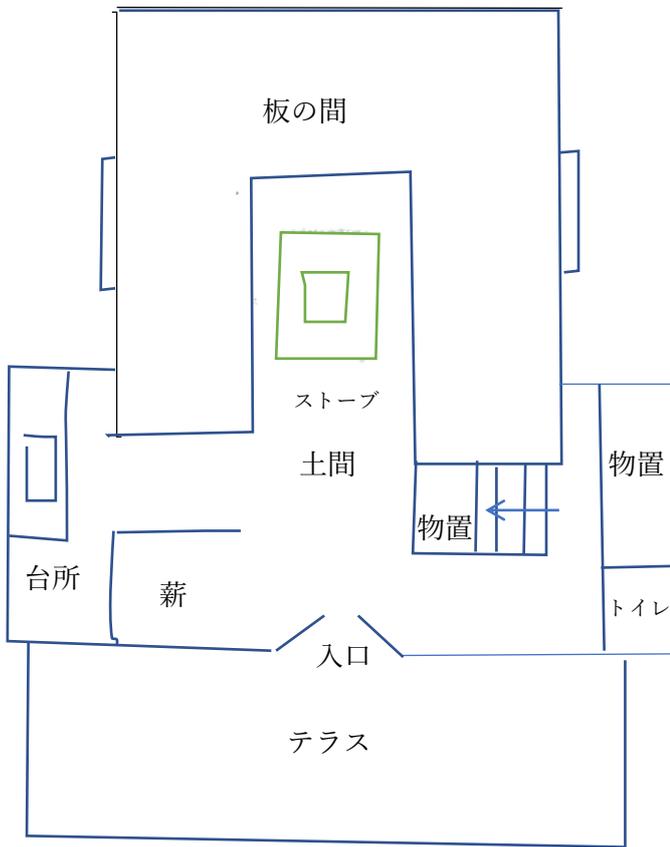
2階 蚕棚式寝室



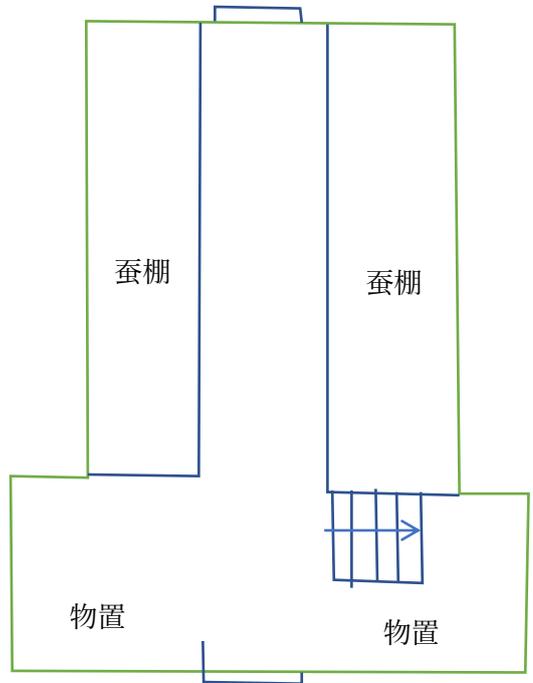
台所、流し台



トイレ



1階間取り



2階間取り

○備品類



鍋・釜類 20人分程度の鍋料理が可能
圧力なべ、蒸し器、薬缶など



食器類、包丁、ざるなど



カセットコンロ（一般家庭用）



備え付けのシュラフ 10袋

○水道設備（沢水）

ヒュッテには南西側にある沢からホースで水を引いています。この沢水は千本杉付近の森林を水源としており、夏でも冷たくおいしいので「清酒千本杉」と呼んでいます。

水道の構造は下図のようになっています。

ヒュッテを使用していない普段の時は、バルブ類は

広場向けバルブ：開 **台所向けバルブ：閉** **ドレーン：開**

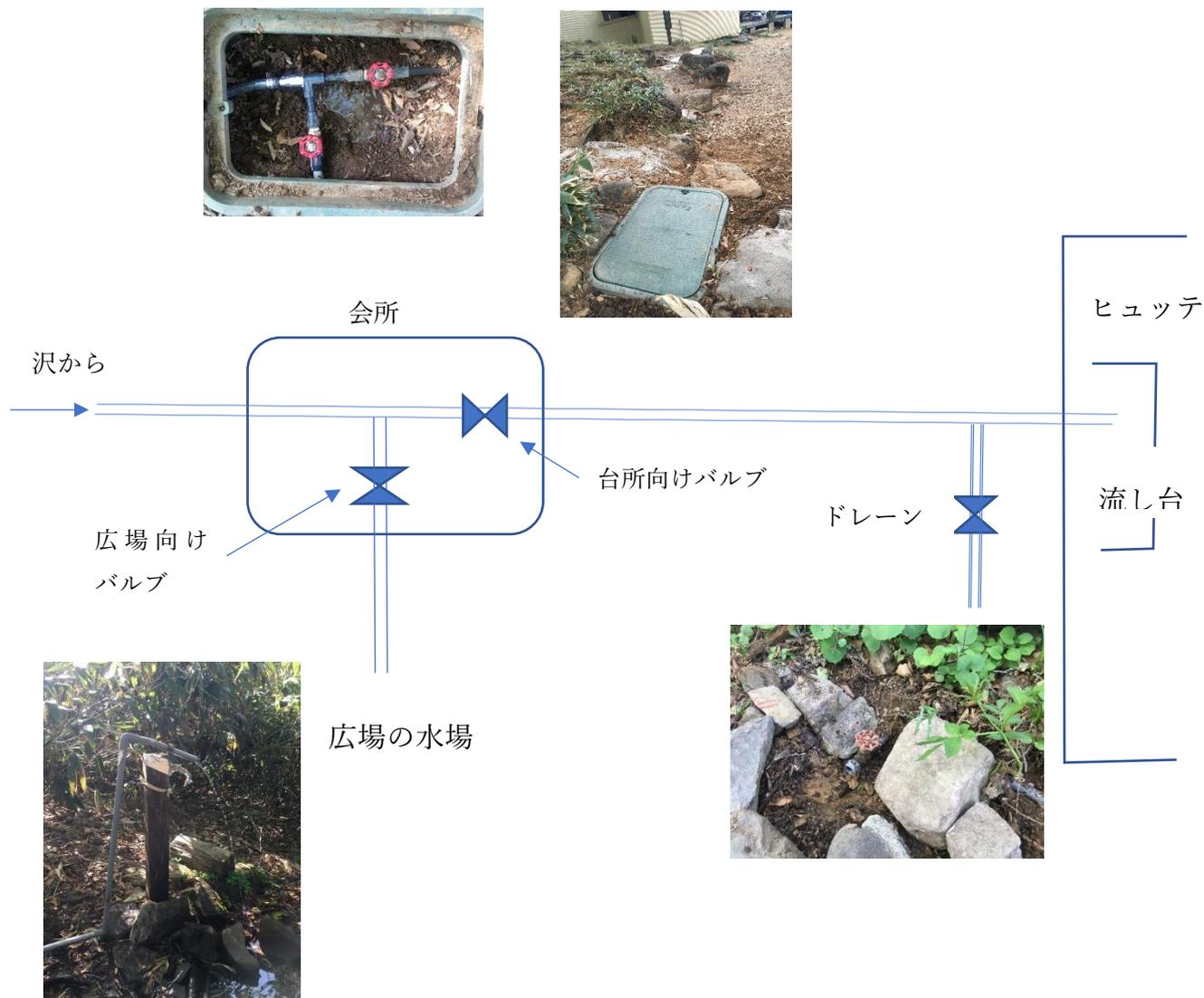
となっていて、広場の水場に水が出ている状態です。

ヒュッテ内台所の流し台で水を出したいときは、会所の蓋を開けて

広場向けバルブ：閉又は絞る **台所向けバルブ：開** **ドレーン：閉**

にすれば、流し台の蛇口に水が出ます。

利用後は必ずバルブ類を元の状態に戻してから下山してください。



ご利用の申込方法

ヒュッテは大学内関係者のほか学外の登山関係者でも所定の手続きをしていただければ利用することができます。電子メールにて、下記の連絡先にご連絡ください。申込書様式を送りますので、必要事項を記入してご利用の1週間前までに返信してください。学内関係者は学生支援課にて鍵を渡します。他の利用者は郵送します。

メールアドレス 学内関係者は stdnt-kagai@office.kobe-u.ac.jp 神戸大学学生支援課

他の利用者は yymmdd@hera.eonet.ne.jp 山田健 (2018/19 年度担当)

ご利用にあたってのお願い

水は南西側の沢からホースで引き込んでいますが、万一水が出ないときには沢まで(約100m)汲みに行ってください。なお積雪期には水道施設は数メートルの雪に埋もれますので水は出ません。雪を溶かしてください。

ストーブ用のまきはご自由に使ってください。ストーブの火の始末は確実にしてください。

ガスコンロはありますが、カセットガスボンベ(一般家庭用のもの)は持参してください。ストーブで調理も可。

なべ、食器類のご利用後は洗ってください。

トイレの紙は備え付けのバケツに入れてください。

ゴミはお持ち帰り願います。

お帰りの時には戸締りを確実にしてください。

山岳部・山岳会ではヒュッテの維持管理のために、利用者にご協力をお願いしています。詳細は申込時にお知らせします。

アクセス (歩行時間は目安です)

無雪期 但馬高原林道大段平駐車場から 徒歩約40分

氷ノ山国際スキー場から東尾根経由 徒歩約90分

養父市福定親水公園から氷ノ山越、頂上経由 徒歩約180分

積雪期 氷ノ山国際スキー場から東尾根経由 雪の状況により徒歩約

3時間から6時間

